

本格的な夏を迎えて

関西交通新聞

この枠は
2行です

夏の全国交通事故防止運動が行われます。車の運転を行なう場合は、夏の太陽の影響で視界を妨げられることもあります。運転には最大限の警戒を行うように注意しましょう。また、車だけではなく、今年からは自転車による違反も増加していまので、自転車だからといって甘く見ないことを強くおすすめします。自転車に乗るとともに、最大限の注意を払って安全に乗るようになります。事故は多くのもの不失うことにつながります。特に、人の命は大切なことです。

う飲む方もいるでしょう。お酒を飲んだ方は絶対に車の運転を控えましょう。お酒を飲んで車の運転などをすると、判断能力が欠如したり、いつもよりも気分上

飲酒運転はやめましょう
お酒を飲んだら車の運転はダメ

く感じることから、スピードを通常時よりも出してまつひともよくあります。そんな時に交通事故をしてしまうと、取り返しつかなくなってしまうことがあります。

それに伴う道路工事の関係で視界不良になる区間もありますので、そう言った場所を通過する際は安全運転を心がけてください。運転を締めて運転をしよう。ちょっととした油断が大きな事故を誘発する要因となります。事故発生の防止には最大限の安全に対する配慮が重要です。

と先の話になりますが完成すれば大きな経済効果を生むことになるかもしません。

い道路の新規開通は確認されていません。しかし奈良県奈良市内ではバイパス道路となる高架道路建設に伴う道路工事のため大きく車線規制を行つてゐる区間がある部分があります。

新規道路開通

新規鉄道開通

1件でも減る社会にすることを目標に、警察官の皆さんも頑張っていますので、交通ルールは守るようにしましょう。些細な見逃しが大きな交通事故に発展することを理解しておこうとした

けでも、安全運転への意識を向けることが大切なのです。

慌てず冷静な対応を行いましょう。ひき逃げなどの行動は、絶対に行つてはなりません。事故を起こしてしまった場合は、すぐに警察署や消防に連絡をして、安全確保に取り組みましょう。逃げてしまうと、それは交通事故ではなく、殺人と同じようなことになり、多くの大切なものを失うことになります。

7月は夏の交通安全週間がありましたが、その期間だけ交通安全を守るのではなく運転中は常に交通ルールを守ることを最優先にすることを推奨します。安全運転を行うことで、交通事故が

11件でも減る社会にする」とを目標に、警察官の皆さんは頑張っていますので、交通ルールは守るようにしましょう。些細な見逃しが大きな交通事故に発展することを理解しておくことがだ